

— 誰でもわかる がん講座 019 — 皮膚癌の卵、日光角化症を知ってますか? —

長年の紫外線暴露がしみや皮膚癌の誘因になることは有名ですが、皮膚癌の前段階である日光角化症をご存知でしょうか？高齢者の顔や頭、手背などの露光部に好発し、表面が少しがさがさ、あるいはジुकジुकする紅斑や色素斑としてみられます。最初は湿疹と区別がつきにくく、ステロイド外用など湿疹の治療をしても改善がないのが特徴です。放置すると、有棘細胞癌という皮膚

癌に進行することがあり、日光角化症を疑った際には組織検査を行い診断します。日光角化症であれば、イミキモドクリームという外用薬で治療ができます。皮膚はだれでも外から見ることのできる臓器です。本格的な皮膚癌になる前の日光角化症で見つけ治療すれば、手術や放射線治療を回避することができます。

皮膚科 主任医長 伊藤周作